私立学校におけるデジタルアーカイブ構築の実践例

―「自由学園100年+」の構想から開設まで ー

自由学園資料室　菅原然子

1. DA「自由学園100年＋」構築母体の概要

自由学園　：1921年　羽仁もと子・吉一夫妻によって創立
現在幼稚園～大学部の一貫教育を行っている私立学校

100周年記念事業　：2021年12月に書籍『自由学園一〇〇年史』出版
デジタルアーカイブ（DA）「自由学園100年+」開設

自由学園資料室　：創立80周年の後、2002年に開室
機関・収集両アーカイブの整備

2. DA「自由学園100年+」の紹介

■ トップページ



2. DA「自由学園100年+」の紹介

■「年表から見る」

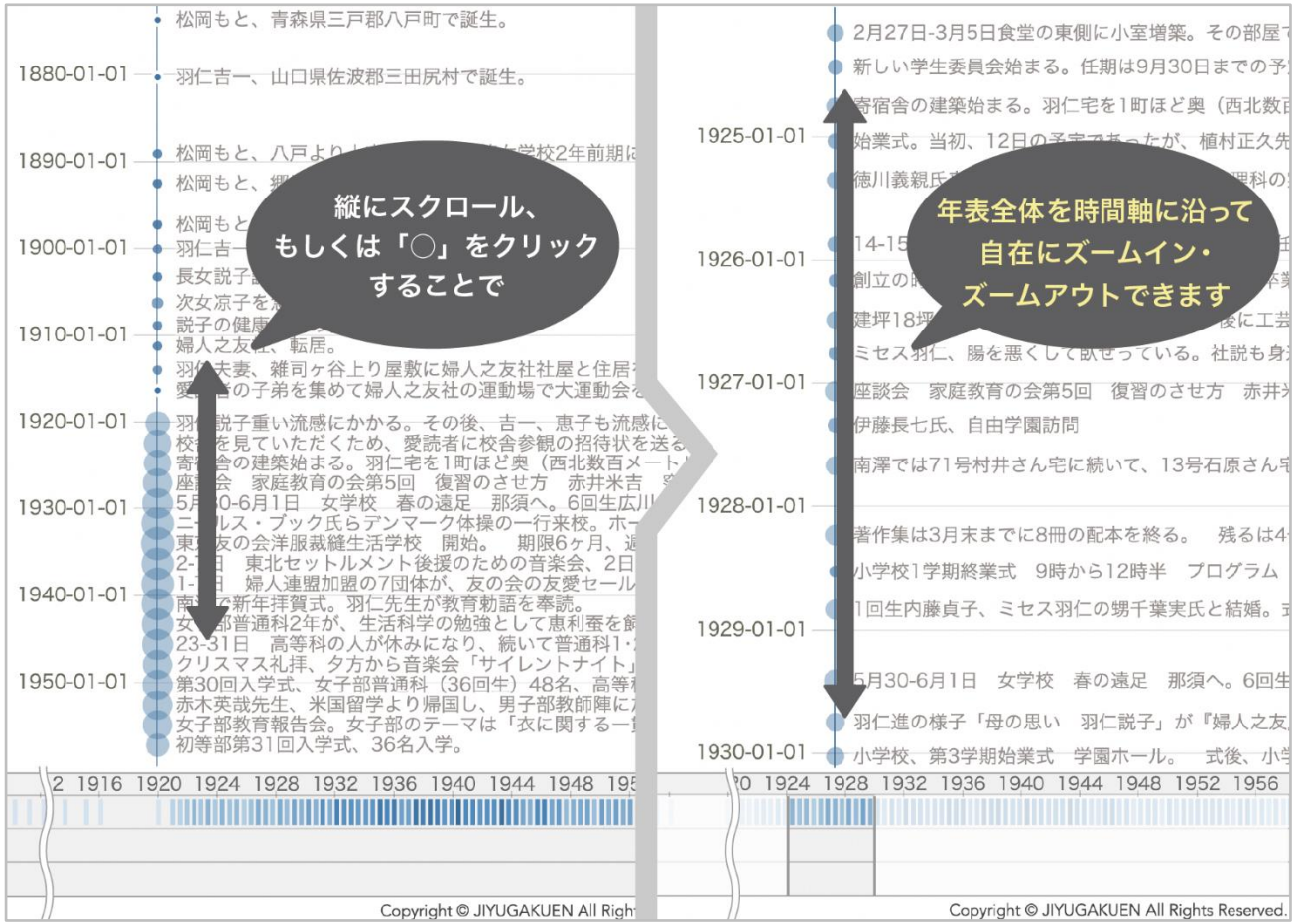
- 「TIMEMAP」使用
- 複数検索ワード
- 複数DB比較



2. DA「自由学園100年+」の紹介

■「年表から見る」

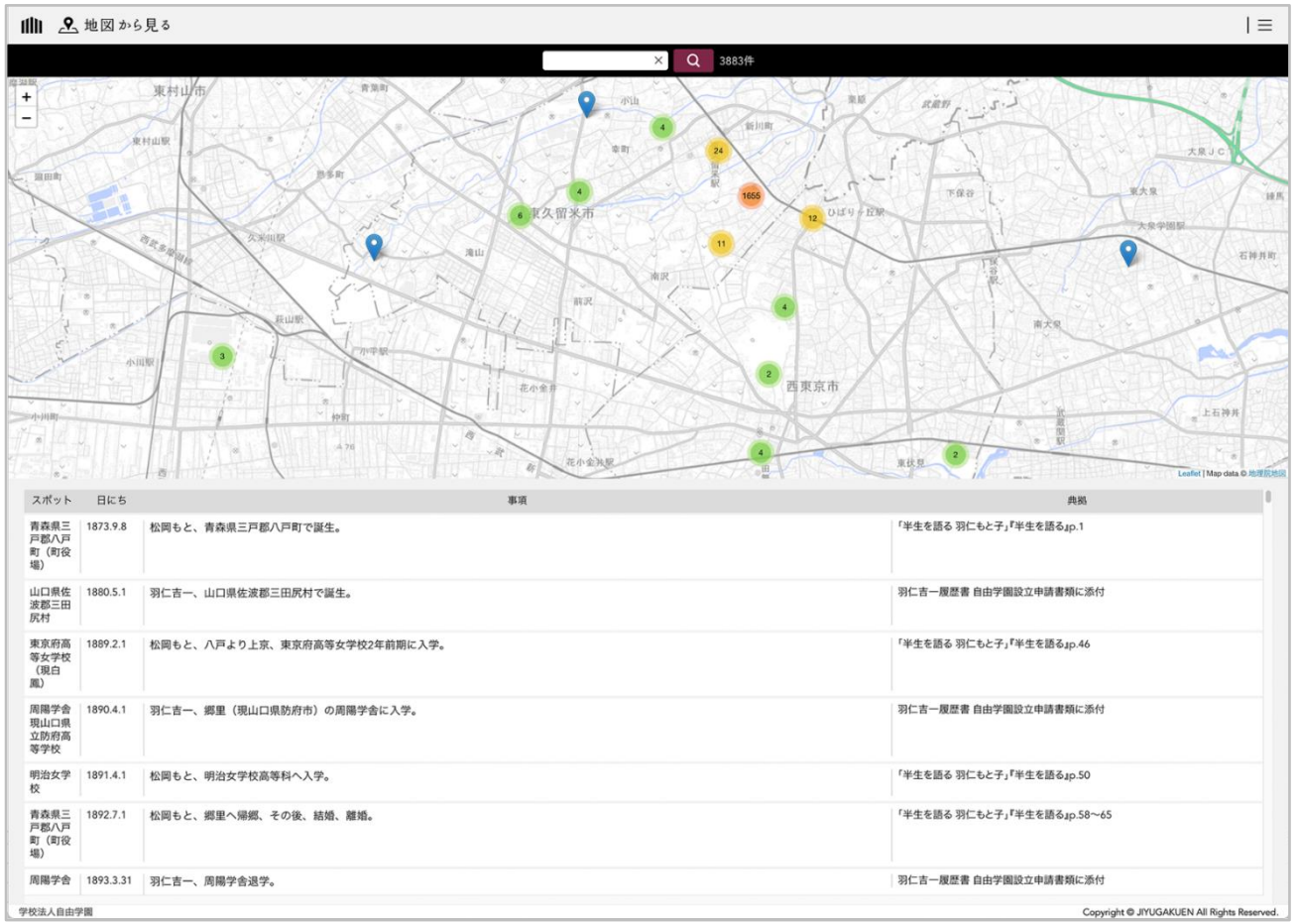
・ズームイン、
ズームアウトが可能



2. DA「自由学園100年+」の紹介

■「地図から見る」

- 年表と連動



2. DA「自由学園100年+」の紹介

■「学園新聞から見る」

- 主に生徒・学生によって作成された新聞
- 34年分(1924～1958年)、1,857ページ
- 記事ごとの検索が可能



2. DA「自由学園100年+」の紹介

■「写真から見る」

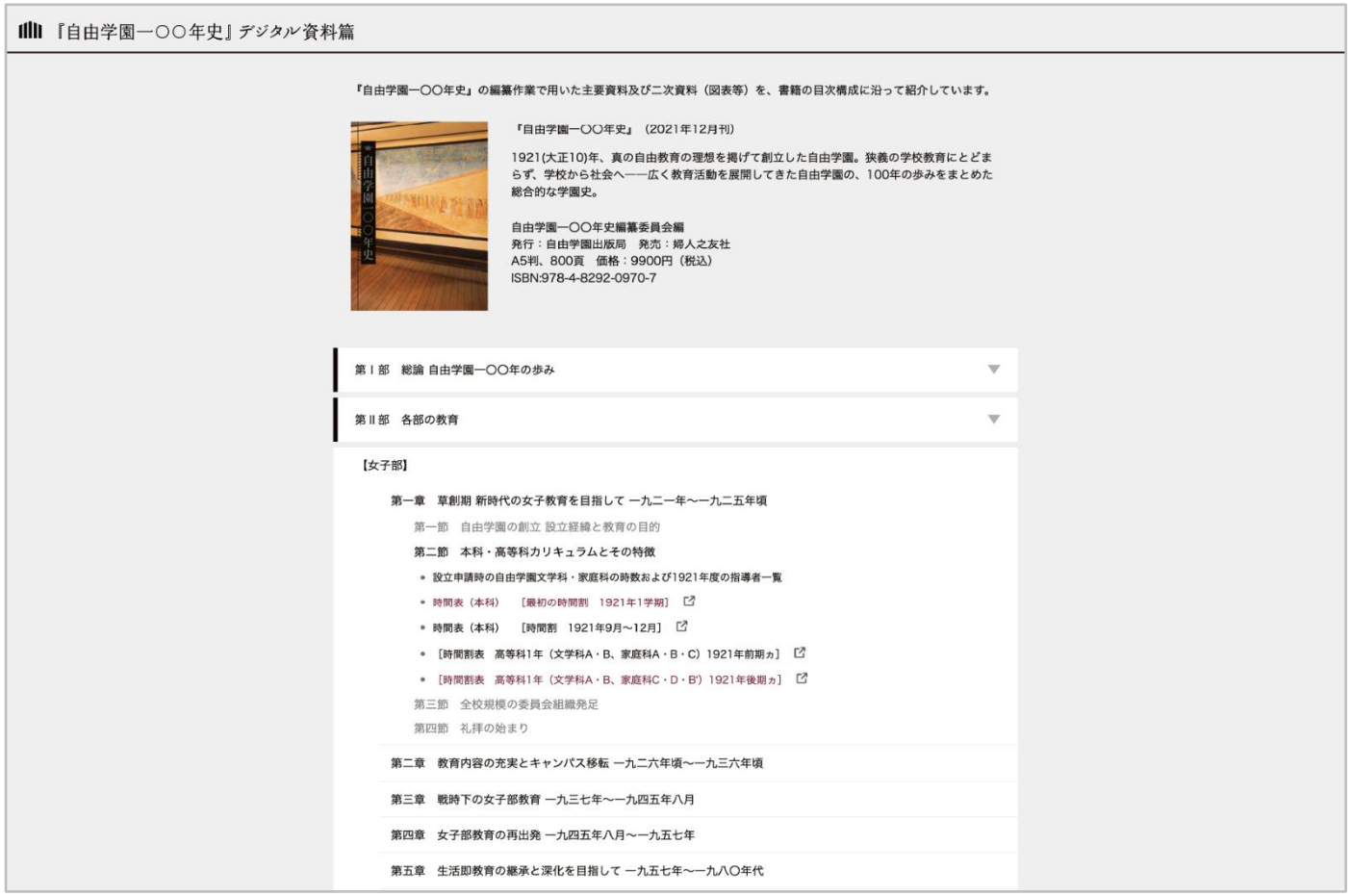
- 約500点の写真
- テーマごとの絞り込みが可能



2. DA「自由学園100年+」の紹介

■『自由学園一〇〇年史』デジタル資料篇

- 書籍の目次に沿って資料を紹介
- 紙幅の制限なく関連資料の公開が可能



2. DA「自由学園100年+」の紹介

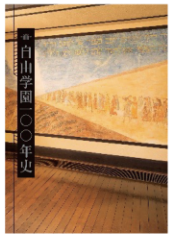
■ 自由学園資料室
収蔵資料データベース

- 収蔵資料2万点のうち、
約1,000点を一般公開



3. DA「自由学園100年+」の特徴 ～2階層サイト～

書籍
『自由学園一〇〇年史』



『自由学園100年＋』

年表から見る　学園新聞から見る

地図から見る　写真から見る　デジタル資料篇

キュレーターの観点から教職員や学生など
身近なユーザーを念頭に置いて収蔵資料を
整理しなおしたサイト

目録検索サイト　収蔵資料データベース
（目録検索システム）

20年来の資料整理　自由学園資料室収蔵資料

4. まとめ

① 主な利用者の想定 → **生徒・学生・教職員・保護者など**

② 主な利用者が収蔵資料にアクセスしやすい仕組み
→ キュレーターによる窓口の設定とそれに沿った資料の再整備

③ キュレーションの際には、
「その機関のユニークな点」「その機関だからこそ持っている独自資料」
が、何かを明確にする必要がある